

こころる便り

第270号

令和4年9月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kminami@shingu.co.jp
電話 079-1-75-1212



新宮運送ホームページ

晒す

半年くらい前から感じていたことがありません。コロナ禍となって掃除の時間を意識的に増やしてきました。通勤の車がたくさん通り過ぎていく中での道路清掃は大変危険な場面にも遭遇することがあります。田舎の抜け道

に当たる狭い道路と、途中は大型車の通行できる広い道路が混在しているためにスピードを上げて追い越しかけたりする車が毎日のようにいます。そんな中でもスピードを緩めたり、頭を下げて通り過ぎる人もおられて励ましの言葉はなくとも、ありがたうが伝わるよううれしくなります。逆にスピードを上げて、ギリギリを通り過ぎて驚かせに来る人も中にはいます。以前のように空き缶を投げつけられることはなくなりましたが、ポイ捨ては未だになくなりません。

鍵山相談役と一緒に山手通りや菅刈公園の周辺清掃をしたとき、グレーチングをめぐった側溝の中に頭を突っ込んでゴミを拾われていた姿を思い出しながら、同じように頭を突っ込んでグレーチングの底に落ちていたタバコの吸殻を拾います。初めて見た時、何もそこまでしなくても……と正直なところ感じました。しかし、今思えるのは、自分の身を晒すことに

よって感じる本気度です。見られて恥ずかしいといふことはありませんが、本気でやれば何か必ず伝わっていくはずで、長い年月が過ぎたというのに、未だに忘れることができない姿なのです。

両親の初盆ということもあって、どこかに疲れがあったのかコロナの陽性反応が出てしまいました。会社のみならず、自分がいなくてはならない行事が続いていたお盆前後のスケジュールをたくさんの方に迷惑をおかけしてしまい、取り返しつかないこととなってしまいました。ここに衷心より、あらためてお詫びいたします。誠に申し訳ありません。微熱の続く中で、ご迷惑をおかけしたことを何度も、何度も悔いる時間でもありました。元に戻すことはできませんから、健康維持こそが全てであるという原点を思い知らされた八月となつてしまいました。何を掴んで立ち上がるか、言葉にできるものはありませんが、しっかりと歩んでまいります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

尋常小學校修身書 卷六 兒童用

第二十七課 教育に關する勅語(つゞき)

勅語の第三段には

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ威其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

と仰せられてあります。

この一段には、前の第二段にお諭しになつた道は、明治天皇が新におきめになつたものではなく、實に皇祖皇宗がおのこしになつた御教訓であつて、皇祖皇宗の御子孫も一般の臣民も共に守るべきものであること、またこの道は古も今も變りがなく、どこでも行はれるものであることを仰せられてあります。最後に、天皇は御みづから我等臣民と共にこの御遺訓をお守りになり、それを御實行になつて、皆徳を同じくしようと仰せられてあります。

以上は明治天皇のお下しになつた教育に關する勅語の大意であります。この勅語にお示しになつてゐる道は我等臣民の永遠に守るべきものであります。我等は至誠を以て日夜この勅語の御趣意を奉體せねばなりません。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

尋常小學校修身書卷六兒童用 終